

報道関係各位

プレスリリース
2026年5月26日
株式会社インテージホールディングス

インテージグループがプロアイスホッケークラブ 「東京ワイルズ」とパートナーシップを開始 スポーツ×地域×データによる価値創出モデルを西東京から発信

株式会社インテージホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:仁司 与志矢、以下「インテージ HD」と)、Extreme Ice Hockey League 所属のプロアイスホッケークラブ「東京ワイルズ」(所在地:東京都東大和市、代表取締役:岡本 博司)は、地域活性化とスポーツ価値の可視化、ファンエンゲージメント向上を目的としたパートナーシップを開始しました。本パートナーシップの取り組みの一環として、インテージ HD は東京ワイルズの来シーズンにおける協賛を実施します。

本パートナーシップでは、株式会社インテージの保有するリサーチノウハウ・データ分析力と、東京ワイルズが持つ地域・ファンとの接点を掛け合わせ、“スポーツ×データ×地域”の新しい価値モデルの創出を目指します。

パートナーシップの背景

スポーツは、地域への誇りや愛着の醸成、コミュニティ形成、経済波及、健康促進など多面的な社会的価値を有しています。しかし、それらの価値を定量的に可視化し、政策や経営に生かす枠組みは十分に確立されていません。

インテージはこれまで、生活者に基づくデータ活用を通じて、企業のマーケティング活動や自治体の EBPM(Evidence Based Policy Making)を支援してきました。一方、東京ワイルズは「地域に応援され、地域とともに成長するクラブ」を掲げ、西東京エリアを中心に地域密着型の活動を強化しています。

両者の強みを融合することで、スポーツの社会的・経済的価値を可視化し、持続可能な地域モデルを創出できると判断いたしました。

パートナーシップの主な内容

① スポーツマーケティングの高度化(ファン育成・ブランディング)

スポーツエンゲージメント調査や生活者データを活用し、ファン基盤の強化とブランド価値向上を図ります。

- ・ ファンの意識・行動データの分析
- ・ 来場者満足度、観戦体験価値の可視化
- ・ 動線・消費行動の把握と体験設計の高度化
- ・ 新規ファン獲得・既存ファン育成に向けた具体施策の立案・実践
- ・ クラブブランドポジションの明確化

データドリブンなマーケティング戦略により、持続的なファン拡大を目指します。

② 「スポーツが地域にもたらす価値」の可視化(EBPM モデル構築)

西東京エリアを対象に地域住民調査を実施し、スポーツと地域愛着・幸福度・地域魅力度の関係を定量的に明らかにします。

- ・ 地域住民アンケートによる生活者意識調査
- ・ スポーツ観戦・参加と地域満足度の因果分析
- ・ スポーツ × 地域愛着 × 幸福度の可視化
- ・ 地域活性化施策へのデータ提言

本取り組みにより、行政・商店街・地域団体との連携を後押しする“エビデンス”を整備し、スポーツを核とした地域政策の説得力向上に貢献します。

③ 共同 PR・情報発信(スポーツ×データの先進事例創出)

本パートナーシップで得られたデータ・知見を活用し、社会へ発信していきます。

- ・ データを軸としたストーリー型情報発信
- ・ メディア向け共同プレスリリース発信
- ・ セミナー開催
- ・ SNS・企業協賛向け資料の共同制作
- ・ 「スポーツ × 地域 × データ」モデルの先進事例化

西東京発のモデルケースとして、全国へ展開可能な枠組みを構築します。

両社コメント

東京ワイルズ 代表取締役 岡本 博司

「東京ワイルズは、地域の皆さまに愛されるクラブを目指しています。今回、データ分析における国内トップ企業であるインテージグループ様と協業させていただけることは、発展途上のチームにとって、未来へ向けての大きな1歩であり、大変嬉しく思います。インテージグループ様のノウハウをお借りして、スポーツの力を“見える化”し、地域に貢献できるクラブとして、さらなる価値創造に挑戦してまいります。」

インテージ HD 代表取締役社長 仁司 与志矢

「インテージグループは“生活者発想”の下、データの力で企業・自治体の意思決定を支えてきました。本協業は、スポーツ領域における EBPM モデルの新たな挑戦です。スポーツが地域や人々にもたらす価値をデータで明らかにし、未来の地域づくりに貢献してまいります。」

今後の展開

2026 年春より、地域住民調査およびファン調査の共同実施をスタートしております。調査結果は自治体・地域企業にも共有し、「スポーツを軸とした地域価値創造モデル」の確立を目指します。将来的には、本モデルを他地域・他競技へ展開し、国内におけるスポーツ価値の定量化と政策・経営への実装を推進していきます。

【株式会社インテージホールディングス】<https://www.intageholdings.co.jp/>

インテージグループは 1960 年に創業した、アジア No.1^{*}を誇るマーケティングリサーチのリーディングカンパニーです。「Know today, Power tomorrow」をビジョンに掲げ、国内最大級の消費者パネル(SCI)や小売店パネル(SRI+)から得られる膨大なデータを活用。幅広い産業の意思決定をデータとテクノロジーで支援しています。近年は、データ利活用を通じた DX 支援や、アジアを中心としたグローバル展開を加速させ、持続可能な社会の実現に貢献しています。

※ 「ESOMAR's Global Top-50 Insights Companies 2025」に基づく(グループ連結売上高ベース)

【インテージグループについて】 <https://www.intageholdings.co.jp/>

(東証プライム市場 証券コード:4326)

インテージグループは 1960 年の創業以来、さまざまなデータを収集・加工・分析し、当グループならではのインサイトを加えてお客さまに提供。その意思決定を支援してきました。お客さまのパート

株式会社インテージホールディングス

〒101-0022 千代田区神田練塀町3番地 インテージ秋葉原ビル

www.intageholdings.co.jp

ナーとして「問い」に寄り添い、生活者理解とテクノロジーを融合させて「次の一手」を導きます。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社インテージ マーケティングパートナー第2本部 担当：三田村、小島

【広報に関するお問い合わせ先】

株式会社インテージホールディングス 社長室 ステークホルダーリレーショングループ

広報担当：小黒、橋本

Eメール：pr-intagegroup@intage.com